

# すみた 議会だより



No. 178

令和4年  
7月15日

特集！住田高校魅力化構想  
挑戦と多様な出会い

②

すみチケプラス再販

④

物価高対策などで論戦  
(6人の議員が一般質問)

⑦

【新企画】住民アンケート  
あなたの声を聞かせて

⑱

「お父さん、この葉っぱなあに？」

《世田米保育園》 関連記事 20p

# 出会い 一人ひとりが主役

特集  
住田高校  
魅力化構想



△ 生徒自らの提案で生まれた「パーソナルユニフォーム（制服）」。住高生のさらなる飛躍が期待されます

## 財政支援の主な内容

住田町では、町内唯一の高校である住田高校と地域が共に魅力を高めるために財政支援を実施しています。

住田高校を存続させ、希望ある学習環境を整え、学びの支援を行います。

### 【令和4年度予算書から】

- 住田高校教育振興事業費補助金 1398万円
  - ・教育振興、通学費支援、給食費支援
  - ・英語検定料助成
- 住田高校魅力化事業 16891万円
  - ・教育コーディネーター設置
  - ・住田高校魅力化構想策定等
- 地域みらい留学負担金 88万円

「住田高校魅力化構想」では、山あいの小さな町から、視座高く、視野広く物事を捉え、身の回りの社会に誠実に働きかける人材である「住田型グローカル人材」の育成を目指しています。

※身につけたい素養は、自主・創造・至誠・共生の4項目です。

実現に向けた施策として①生徒が安心して挑戦できる環境づくり。②多様な出会いの場づくり。③地域創造学の充実。④持続可能な事業の推進。の4施策が挙げられています。

※グローカルとは「グローバル（世界）とローカル（地方）を合わせた言葉です。」

# 住田高校を守り 住高生を育む

# 挑戦と多様な

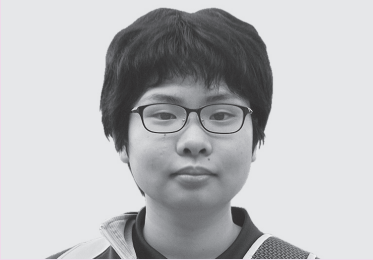
## 英語で海外交流



福田 一稀さん  
3年 陸前高田市

給食は、無料で美味しく、量も満足です。親も助かっています。私の個人プロジェクトの目標は、海外の人とオンラインで交流し、英語で会話することです。先生やコーディネーターの方が親身に支えてくれます。

## 先生と距離近い



水野 香梨さん  
2年 住田町

住高の印象は、先生と生徒の距離が近く会話が多いことです。私は、どういう職業に向いているか。何ができるかの自己分析に取り組んでいます。社会人との対話などで職業の取材や調査をしていきたいです。

## 動画にチャレンジ



後藤 柁太さん  
1年 陸前高田市

私は、1年生の地域創造学「ちよこつとチャレンジ」で、住田町のPR動画を作りました。住高生のやってみたくを形とする「チャレンジ部」で、私はアート部に所属しています。想像力を膨らませ沢山のイラストを描いていきたいです。

## 生徒と共に歩む



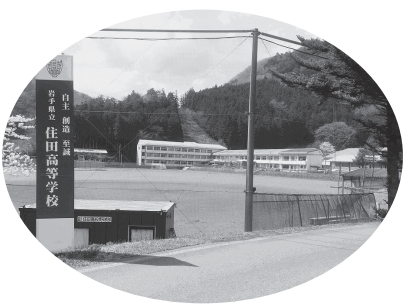
国廣 朱音さん  
教育コーディネーター

「住高ハウス○○」は、教育コーディネーター3名と魅力化サポーター1名で運営しています。ここは、学校でも家庭でもない第3の場所。私たちは、生徒たちに寄り添い、耳を傾け、共に歩むことを大切にしています。

## 住高のさらなる 飛躍を願って

住田高校は、小規模校の長所を生かして、生徒が自主的に参加、活動する気風が生まれ、生徒自らで企画運営する機運が高まっています。

その一つとして、生徒自らの提案で生まれた「パーソナルユニフォーム(写真右)」は、ジェンダーレス(男女格差をなくす活動)時代にも対応した、自由で幅広い選択ができるデザインに一新。住高生のさらなる飛躍と住高への入学が待たれます。



# 第22回定例会 (6月議会) あらまし

## 町内事業者を支援

### 使って応援「すみチケ+」再び

新型コロナウイルス感染症の収束が見込めないことによる地域経済への影響を考慮し、幅広く町内事業者を支援するため、プレミアム率100%チケット「すみチケ+（プラス）」の再販売を決定。新型コロナウイルス感染症対応地方

創生臨時交付金を財源とし、8300万円を補正計上する。

コロナ禍で経営に大きく影響を受けている飲食店への応援では「すみチケスタンプラリー」を開催し、店舗利用の活性化を図る。



△「すみチケ+」で活性化が期待される世田米商店街

**問** 「すみチケ+」の取扱内容は。

**答** 1セット500円  
20枚の1万円分を5千円で販売。1世帯につき最大8セットまで購入が可能であり、町民及び町内で勤務の方を対象とする。利用期間は令和4年8月8日から令和5年1月31日までとなる。

**問** 「すみチケスタンプラリー」の詳細は。

**答** 「すみチケ+」取扱店舗でチケットを利用するとスタンプを一つ押印。7店舗分のスタンプ収集で千円分の「すみた食事券」を贈呈する。町内の飲食店が対象。

## 議案6号

### 仮設中上団地 解体工事

#### 解体工事

● 落札業者  
(有)山崎工業

● 請負契約金額  
6930万円

● 解体工事の概要  
応急仮設住宅 11棟  
旧下有住小第二校舎  
第一第二校舎渡り廊下  
家庭教室渡り廊下屋根  
外部便所、外部倉庫  
自転車置場、遊具など  
立木等の伐採  
東屋の移転  
暗渠排水敷設工事

● 落札業者  
(有)山崎工業

● 請負契約金額  
6930万円

**問** 東屋の移転先や敷地の活用をどのように考えているか。

**答** 地域の意向に沿えり、と協議を交え進めてまいりたい。



△ 解体工事を待つ中上仮設団地

6月定例会は、6月7日から10日までの4日間の会期で開かれ、一般質問には6議員が登壇し、新型コロナや雇用対策、再生可能エネルギー政策など町政諸課題について議論が交わされました。

本会議では、3年度繰越明許費の報告、専決処分の承認、令和4年度補正予算、条例の一部改正など議案18件を可決。請願3件は、不採択となりました。

# 震災遺構に仮設住宅を再現

# リモートワーク拠点づくり

## 仕事・学びの場

- 旧仮設住宅本町団地の跡地を「仕事・学びの場」として一体的に新築整備。東日本大震災時における町の後方支援など震災の記録と記憶を後世に残すため、仮設住宅を再現し資料展示する。町外からの新しい人材と町内の人材との関わりを通して、新しい仕事や雇用を創出することを目的とする。
- 新築工事の概要と構成  
オフィス棟 2棟  
1棟あたり  
(ワーキングスペース 3部屋、ワークブース 1部屋)  
滞在体験棟 2棟  
1棟あたり  
(リビング、キッチン 寝室、浴室、トイレ)  
展示棟 1棟  
(仮設住宅を再現、各種資料の展示)



△ 幅広い世代の利用を見込む「仕事・学びの場」共用棟 (完成イメージ図)

- 共用棟 1棟  
(コワーキングスペース、共用キッチン、多目的トイレ、ワークブース)  
管理棟 1棟  
(受付及び施設の事務スペース)
- 落札業者  
(有) 坂井建設
- 請負契約金額  
9900万円

## 賛成討論

### 移住定住へ

佐々木春一 議員

学生が医療や介護の調査などを目的に本町を訪れている。教育機関との連携を図る上でも施設を活用していく価値はある。町内企業においても、当施設においても、当施設を拠点に短期研修などを通じて町の魅力に触れていただき、移住定住へと繋げていけるよう取り組みに期待する。

## 反対討論

### 正職員配置を

佐々木信一 議員

施設管理者には、雇用期間に不安のある地域おこし協力隊ではなく正規職員を配置すべきであり、本事業が町内の仕事には繋がらないものと考えます。

### 他公共施設で

村上 薫 議員

仮設住宅本町団地の跡地利用にこだわることなく、生活改善センターの改築やまち家世田米駅の土蔵群改修などに併せて整備し、既存施設や管理者との連携を図る事業展開の方法もあるのではないかと考える。

## 議案5号

## 財産取得

住田町消防団第3分団第2部(大股)及び第6分団第3部(中卒)の小型動力ポンプ積載車を更新。それぞれ21、22年が経過し、車両の老朽化が進んでいた。最新の設備車両を導入し、地域防災力の向上と団員の士気向上を図る。

- 取得予定価格  
1918万4千円  
(車両2台)
- 取得方法  
買入れ
- 購入先  
(株)古川ポンプ製作所  
一関支店

# 議案8号

## 種山ヶ原水道 ろ過施設整備

平成21年度に設置した種山ヶ原専用水道膜ろ過施設の老朽化に伴い、更新整備工事を行う。道の駅ぼらんをはじめ、遊林ランド種山、種山ヶ原森林公園内における安全安心の飲料水の提供に寄与する。工期は令和5年3月24日までを予定。

### ●工事内容

- 機械設備工事
  - ・膜ろ過装置 1基
  - ・膜ろ過原水槽 1槽
  - ・活性炭ろ過機 1基
  - ・原水濁度計 1台
  - ・配管工 1式
- 電気計装設備工事
  - ・水処理制御盤 1面
  - ・総合試運転 1式



△ 森林公園内に設置されている水道膜ろ過施設の外観

### ●落札業者

理水化学(株)北東北支店

### ●請負契約金額

6985万円

### 問

今回の施設整備により、使用水量をどのくらい見込んでいますか。

### 答

1日あたりの最大想定給水量は約30トンを計画。水源池の水量は1日約133トンとなる。

## 請願のゆくえ

令和3年度請願第5号	感染症対策としてのワクチン接種の政策評価・公表等の請願
令和4年度請願第1号	mRNAワクチン接種時のインフォームド・コンセントの実態調査等に関する請願
令和4年度請願第2号	保育園・小・中学校での児童・生徒のマスク着用に関する請願
請願者の氏名・団体・住所	佐々木 公一 新型コロナを学ぶ会、すみたの子どもたちの未来を守る会 住田町上有住字中沢70-1
紹介議員	水野 正勝
付託常任委員会	総務教民常任委員会
審査の結果	不採択と決定
本会議での採決	賛成少数で不採択と決定

## 賛否が分かれた議案 採決状況一覧

○：賛成 ×：反対 欠：欠席  
議長は採決に加わりません

議案	水野正勝	荻原勝	佐々木初雄	佐々木信一	佐々木春一	村上薫	阿部祐一	林崎幸正	菊池孝	高橋靖	菅野浩正	瀧本正徳	議決結果
議案第7号 仕事・学びの場新築工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	欠	—	可決
請願第5号(令和3年度) 感染症対策としてのワクチン接種の政策評価・公表等の請願	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	—	不採択
請願第1号 mRNAワクチン接種時のインフォームド・コンセントの実態調査等に関する請願	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	—	不採択
請願第2号 保育園・小・中学校での児童・生徒のマスク着用に関する請願	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	—	不採択

# 一般質問

# 町の考えを問う

## 物価高騰対策、林業振興 教育環境などで論戦

### 6人の議員が質問

ページ	質問者 (登壇順)	質問項目
8	おぎわら 荻原 まする 勝	① 総合計画の中間見直し ② 住田高校の生徒数確保対策
9	あべ 阿部 ゆういち 祐一	① 産業の振興と仕事対策 ② 個人所有資産の管理
10	はやしざき 林崎 さちまさ 幸正	① 人口減少対策における雇用政策 ② 仮設住宅の跡地
11	みずの 水野 まさかつ 正勝	① 新型コロナウイルス感染症対策
12	むらかみ 村上 かほる 薫	① 脱炭素推進と再生可能エネルギー政策 ② 協働の町づくりと職員の地区配置 ③ 石綿（アスベスト）に係る対応
11	ささき 佐々木 春一 はるかず	① 深刻な物価高騰から町民の生活を守ること ② 地球温暖化がもたらす気候危機への対応 ③ 部活動の地域移行

なお、全文記録（議事録）は、8月中旬から役場庁舎2階の総務課と町のホームページ上で閲覧できます。

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたり、施行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点をたずねること。質問の方法は、1回目は一括して質問しますが、2回目以降は一回ずつ質問する一問一答方式を採用しています。持ち時間は、答弁を含めて60分です。

# 問 総合計画の中間見直しは

## 答 二つの推進委員会で協議



おぎわら 荻原 まさる 議員 勝

町の考えを問う

小さな自治体だからこそ  
チャレンジできる課題が  
沢山あるはず。

議員のつぶやき

**問** 令和4年度は町総合計画の中間見直しの時期である。特に見直したい点は何か。

**答 町長** 中間見直しの方向性は、新型コロナウイルス感染症などによる社会情勢を見据えたもの、人々の行動変容やデジタル化の推進、法律や制度、国の指針の変更などに伴うものを踏まえ、必要に応じて新たな計画に盛り込んでいきたい。

**問** 中間見直しの進め方は。  
**答 町長** 進め方は「計画、実行、

評価、改善」という一連の見直し手法により進める。そのためにも、事業実績全般や、その中でも重要と考える事業項目を評価するための目標値などの指標（KPI）を把握し、二つの推進委員会にその内容を報告し、意見をいただきながら反映させていきたい。本年7月に庁舎内推進委員会、8月に町総合計画推進委員会を開催する。5年2月に再度、両委員会を開催し、令和4年度の事業評価アンケートの結果と中間見直し案を協議していただく。

# 問 住高存続へ入学者確保を

## 答 進路選択へ情報発信強化

**問** 住田高校魅力強化構想の中心的な取り組みである「住高ハウス〇〇」の成果と課題は。

**答 教育長** 住田高校の研修会館内にある「住高ハウス〇〇」は、生徒の自学自習、大学生や社会人との交流など、さまざまな学びや体験ができる場であり、教育コーディネーターが常駐し運営を行っている。

成果は、生徒の進学や就職での進路実現に寄与していることだと考える。課題は、この取り組みを高校生の保護者、中学校の先生、生徒や保護者などの皆さんに、今まで以上に周知することだと考える。

**問** 住田高校存続へどう取り組む考えか。

**答 教育長** 住田高校存続の根本課題である入学者の確保には、危機感を持つて取り組んでいる。定員の半数に満たない昨年度状況は、管内中学生への情報発信の不足が最大の要因と考える。教育長と住田高校校長による気仙地区

と釜石市への中学校訪問を早め、中学3年生の進路選択へ情報発信を強化していく。1日体験入学や秋の文化祭での学校紹介も実施する。「住高ハウス〇〇」利用の生徒を通じて出身中学への情報発信は、高校選択動機の一つになったとの体験も聞いており地道に取り組んでいきたい。



△ 住高魅力化のためのさまざまな意見交換の場となっている「住田高校魅力化推進会議」



# 問 人材確保にどう対処

## 答 効果的な担い手育成対策で

**問** 森林整備にどう取り組むのか。

**答** 町長

FSC森林認証に取り組みながら、森林環境譲与税や森林経営管理制度を活用し、さらなる未整備の私有林の整備を進めたい。再造林必要性が高まる中で、獣害対策も大きな課題と捉え、効果的な対策を検討し実施していく。林地残材の活用や地域材・町産材のさらなる利活用を図りたい。

**問** 林業従事者の人材確保にどう取り組むのか。

**答** 町長

近年の高性能機械の利  
用拡大や研修制度の充実により、伐採系のオペレーター  
の育成は進みつつあるが、特にも造林や保育作業の担い手の確保が急務と捉えている。ICTの活用や作業の省力化など、担い手不足を補う新技術を導入する。地域おこし協力隊などを活用した外部人材の呼び

込みにより効果的な担い手育成施策を検討する。

**問** CLT(直交集成板)工場誘致にどう取り組むか。

**答** 町長

CLT工法に早くから着目した町内の事業者と取引先の実業企業が、工場誘致を検討していることから話し合いを重ねてきた。工場の立地場所、経営主体なども含め不確定要素もあることから、丁寧に協議を継続していく。



あべ ゆういち  
阿部 祐一 議員

住みやすさ  
暮らしやすさを  
アピールした  
定住促進を

議員のつぶやき

町の考えを問う

# 問 農用地管理を進めよ

## 答 毎年現地調査を実施

**問** 近年、遊休農地や耕作放棄地が増加している。農地管理にどう取り組んでいるのか。

**答** 農業委員会長

「農地利用状況調査」に基づき、地域の農地利用の確認や遊休農地の実態把握、農地の違反転用の発生防止と早期発見のため、毎年7月に農業委員及び農地最適化推進委員が農地パトロールを行っている。荒廃している農地・新規遊休農地・解消農地などを確認した上で、五つの地域推進班ごとに現地調査を実施しながら、適切な農地管理に取り組んでいる。

**問** 農地所有者への管理指導を行っているのか。

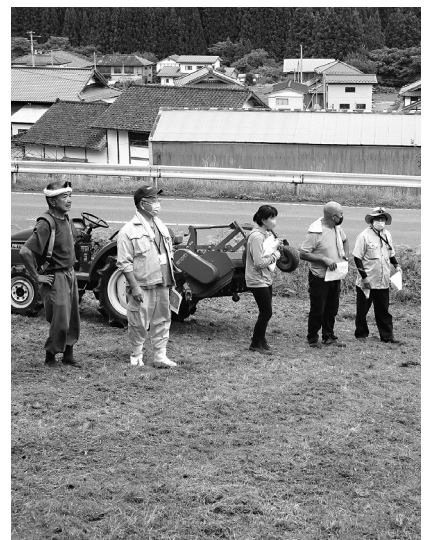
**答** 農業委員会長

調査結果を所有者ごとに把握しているが、個々の固有資産まで踏み込んだ管理指導はしていない。農地集積に生じる相談にはケース毎に対応している。

**問** 私有地と町有地の境界の確認策はどうか。

**答** 町長

町内全域で国土調査が完了している。現地復元の費用は基本的に個人負担となり、土地家屋調査士などが実施する。



△ 農業委員や農地最適化推進委員が、町内のすべての農地をパトロール。適切な農地管理の推進に努めている

# 問 魅力ある企業の誘致を

## 答 地域特性を最大限生かす

**問** 人口減少対策において重要なのは、働く場の確保だと考える。雇用の場をどう考えているのか。

**答** 町長 町民所得の向上に直結する重要な課題と捉えている。新たな事業の創出を促進し産業の活性化を図るために企業奨励金を交付している。

**問** 労働力の確保のため、外国人労働者を受け入れているが、現状をどう捉えているか。

**答** 町長 町内の事業所の従業員雇用状況は、半数以上が町外居住者が占めている。

**問** 働く場の確保には魅力ある企業を誘致すべきと考えるが。

**答** 町長 企業誘致には、情報収集と企業ニーズとのマッチングが不可欠です。アントテナを高くし岩手県起業誘致推進委員会など関係機関からの情報収集に努めながら、地域特性を最大限生かし魅力ある企業をターゲットとして、起業誘致活動に取り組んでいきたい。

**問** 労働力の確保策として、外国人技能実習生を雇用している企業は3事業所ある。

**答** 町長 労働力の確保策として、外国人技能実習生を雇用している企業は3事業所ある。

**問** 本町団地と中上団地の解体に伴う費用やスケジュールは。

**答** 町長 本町団地の解体費用は700万円で、完了は本年7月末を予定している。中上団地の解体設計費は277万円。全体工事費は6930万円。その内、解体工事費は1750万円。解体完了は本年12月12日を予定。

**問** それぞれの跡地利用をどのように考えるのか。

**答** 町長 本町団地の跡地利用は、東日本大震災発生時から町の後方支援や震災の記憶と記録を後世に残す展示施設と新しく仕事や雇用を創出する、仕事・



△ 解体が進む本町団地。新しく仕事や雇用を創出する、仕事・学びの場として、一体的に整備される

**問** 町民への説明や意見聴取は行われたのか。

**答** 町長 学びの場として、一体的に整備する。完成年度は来年1月16日を予定。中上団地の跡地利用は、下有住いきいき活動協議会から要望を受けており、今後も地元の皆様と協議を進めて行く。

**答** 町長 本町団地の跡地利用については、住田町商工会会長及び副会長に説明と意見交換を行い、本年3月には東峰公民館長への説明と役員への資料配布を行った。中上団地の跡地利用は、令和3年2月に下有住地区公民館で説明会を開催した。



はやしざき 林崎 さちまさ 幸正 議員

人口減少対策は働く場確保が重要である。積極的に取り組んでほしい。

議員のつぶやき

町の考えを問う

# 問 跡地利用の住民説明は

## 答 各会場で説明会を

# 問 新型コロナ対応今後は

## 答 基本対策と日頃の健康管理

**問** 町内における新型コロナウイルスの発生状況をどのように捉え、今後対応していく考えか。

**答** 町長

6月5日現在、町の公表されている感染者数は48人。全国的には未だ昨年夏のピークより高い状況となり今後も再増加の可能性が懸念される。基本的な感染対策と日頃の健康管理を呼びかけるなどリスク低減に取り組む。

**問** 新型コロナウイルス接種事業の成果は。

**答** 町長

4月27日に開催された厚生科学審議会の資料によるとワクチン2回接種と比較した3回接種の感染予防効果が認められ、症状が悪化する者の割合が減少したなどの報告が行われている。町としても発症予防や重症化予防の成果があったものと捉えている。

**問** マスク着用による感染予防効果をどのように評価しているか。

**答** 町長

新型コロナウイルスでは発症前または無症状者からの感染対策が重要となる。感染力も高いことからマスク着用が呼びかけられてきた。不織布マスクであれば約8割の飛沫を抑制したとの報告もあり、感染予防に一定の効果があるものと捉える。



みずの水野 まさかつ正勝 議員

社会と経済を再生し、子ども達のためにも本来の日常をとり戻していくべきだと考えます。

議員のつぶやき

町の考えを問う

# 問 どうなる住民交流機会

## 答 イベント実施で活発化

**問** 本町における各種行事や団体での社会的活動など住民交流機会のあり方を今後どのように捉えていくか。

**答** 町長

全国的にみても各種イベントは実施の方向で動いている。県内においても岩手緊急事態宣言が解除となり、経済活動の回復や社会的活動の機会は増加していくものと考えている。町内においても各種イベントについては実施の方向で検討されていると聞いており、今後社会的活動は活発化していくものと捉えている。

**問** コロナ禍により飲食店をはじめ地域経済への影響は強いものと捉える。さらなる地域経済の再生を促していくべきと考えらるがどうか。

**答** 町長

町内事業者への影響調査を検証した結果、経営支援の必要があると判断し、「使って応援住田チケットすみちケ+」を補正予算に計上する。飲食店の応援では商工会がスタンプラリーを企画予定。「すみちケ+」の仕組みを最大限に活用していただき、地域経済の再生と活性化を期待している。



△ 3年ぶりの開催が見込まれている住田町夏祭り

# 問 どう進める脱炭素推進

## 答 都市部との連携活用を図る



むらかみ 村上 議員  
かおる 薫 議員

町の考えを問う

協働のまちづくりに資する  
地域担当職員の配置で  
「顔の見える役場へ」

議員のつぶやき

**問** 都市部の森林環境譲与税を活用した脱炭素施策をどのように進める考えか。

**答** 町長 東京都港区との間に「みなとモデル二酸化炭素固定認定制度」の協定を結んでいる。同区と同様の協定を結ぶ78自治体に参加する「みなと森と水ネットワークショップ」にも参加。これらのネットワークを活かしつつ自治体間連携の活用を検討を進める。

**問** 国の応募が開始された「脱炭素先行地域」づくりへの町の対応は。

**答** 町長 町再生可能エネルギー

活用推進計画において実現を目指す。捨て間伐材などを利活用するともに、地域住民が搬出して林業事業者へ売渡し、搬出量に応じた対価を得る仕組みづくりを現在進めている。

**問** 遠野市小友町外山地区の土砂流出問題など、太陽光発電設備等の適正な設置と自然環境との調和を図る条例を制定する自治体が増えている。検討すべきと考えるが。

**答** 町長 規制と促進の両面から円滑な事業ができるよう有効な手段の検討が必要と考えている。

**問** ケセンエナジー(株)の住田新田山太陽光発電及び合同会社グリーンパワー住田遠野風力発電に係る契約条項の内容は。

**答** 町長 太陽光発電設備は、上有住字新田の6・1haに平成28年4月より20年間の賃貸借契約を締結。風力発電設備は、下有住字火の土、地上権5・1ha、地役権3・7ha、計8・8haに令和2年1月より30年間の地上権等設定契約をしている。

**問** 契約期間後の条項内容。

**答** 町長 期間延長せず満了となる場合、ケセンエナジーは、現状に復し返還。グリーンパワー住田遠野は、風力発電設備を撤去し盛土などの処理後、ヤード部の植栽をする規定となっている。

地域職員配置を

計画の見直しで

**問** 近年、職員の町外出身者が多くなっているが、まちづくりは人と地域を知ることからはじめるものと考え。協働のまちづくりに資する地域担当職員の配置を検討すべきではないか。

**答** 町長 ポストコロナを見据えた総合計画の見直しに合わせて検討していきたい。

石綿除去の補助

国の動向で検討

**問** 今年4月1日以降の工事から、石綿(アスベスト)の事前調査結果の報告が義務化された。町民への制度周知と含有調査及び除去に補助金制度の創設を検討すべきと考えるがどうか。

**答** 町長 補助制度は、国の施策動向などを踏まえ、対応を検討してまいりたい。



△平成15年度からの地区別計画で多くの職員が各地区に関わった

# 問 物価高騰から暮らし守れ

## 答 きめ細やかで有効な支援

**問** 深刻な原油価格や物価高騰から町民の生活と営業を守る「地方創生臨時交付金」の活用策は。

**答** 町長

物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の負担軽減に、きめ細やかな支援を積極的に活用する。

**問** 子育て支援の一環で1人当たり1万5千円を給付する「いわて子育て世帯臨時特別給付事業」に対する上乘せ給付は。

**答** 町長

子育て支援の目的に鑑み、より有効な支援策を前向きに検討したい。

**問** 燃油価格や肥料・飼料など農業資材の高騰から農

家経営を守る対策として直接支援を。

**答** 町長

農業者にとどまらず、



△ 肥料や飼料など資材高騰で農家は四苦八苦している。実効ある対策が求められる

中小事業者全体に関わる問題と捉え、関係機関等と情報交換し、効果的な支援策を考えている。



ささきはるかす  
佐々木春一 議員

消費税減税こそ物価高騰から暮らしを守るうえで最も効果的対策であると思うが。いかがか...

議員のつぶやき

町の考えを問う

# 問 本気でCO<sub>2</sub>削減を

## 答 省エネ・再生エネを促進

**問** 町民に気候変動が差し迫った危機であることが浸透していない。本気で啓発の取り組みを。

**答** 町長

地球温暖化は、猛暑や豪雨のリスクが高まることが想定される。脱炭素・温暖化対策に積極的に取り組んでいきたい。

**問** 地球温暖化対策実行計画を策定しているが。

**答** 町長

温室効果ガスの排出量削減に向けた目標と計画を定めている。2050

# 問 部活の地域移行は

## 答 指導員導入を考慮

**問** 中学校での休日の部活動指導を地域や民間団体にゆだねる地域移行が提言された。推進計画の策定が求められているが。

**答** 教育長

中学校やクラブチーム、保護者や同窓会、町内スポーツ協会など、指導にあたっている皆さんとの連携により、計画を策定していきたい。

**答** 教育長

生徒の健全育成を第一に考え、専門的な知識や技量、指導経験がある公立学校教員などの公務員が希望した場合、地域で指導できるようにすることも想定されることから、学校とも連携を図る必要がある。さらに、部活動指導員の導入を考えたい。

**問** 部活動は学校教育の一環としても位置付けられてきた。生徒が安心して取り組める環境づくりが必要だが。



△ 子どもたちの活躍は町民の励みになるが

# 少子化での学びの環境は

教育委員会との意見交換

調査  
1

## 学校統合のすすめ方 まず中学校の統合



共に学び 共に育つ

世田米中学校



創れ我が手で 我が郷土

有住中学校

令和4年2月3日、町内小中学校における児童生徒数の減少に伴う学校再編問題について教育委員会と意見交換を行いました。教育環境整備については、教育審議会が諮問機関となり、地域や保護者の声をうけて審議。中学校のみの統合が望ましいとの答申がまとめられました。今後は、学校統合推進協議会の中で具体化へ向け協議されていきます。

常任委員会

調査  
2

## 地域で学び育てる 地域創造学の取り組み



①



②



③



④

同日、地域に誇りと関心を持ち地域を支えようとする心を育むことができる「地域創造学」について、取り組み状況を調査するため、教育委員会教育研究所と意見を交わしました。住田に残り、住田に戻り、どこにいても住田を想える人材の育成は町の重要課題の一つです。今後も、地域と町の教育現場とのさらなる橋渡しができるよう状況把握に努め、後押しをしてまいります。

- ①森の保育園
- ②たたら製鉄体験
- ③地域創造学の授業
- ④住高チャレンジ部

# どう進める再造林

持続的林業経営を考える

調査  
1

## 気仙地方森林組合・町林政課との意見交換

令和4年4月27日、町有林の経営実績や航空レーザ測量の測量計画などの状況説明を林政課に依頼し、町の林業施策について意見交換を行いました。町の林業課題は再造林や育林です。そのためにも、作業の省力化や低コスト化の調査研究を進めてまいります。

令和4年6月16日、気仙地方森林組合の新組合長の金氏をお招きし、意見交換会を実施。森林組合の事業や今後の展望を伺うなど、本町における林業振興のあり方について懇談しました。引き続き森林組合と町の連携を図ってまいります。



調査  
2

## 最新の製材ライン・大型設備を視察 —木工団地・けせんプレカット事業協同組合

令和4年4月27日、けせんプレカット事業協同組合を訪ね、大径木まで対応が可能となる最新の製材ラインや10台の乾燥機、プレスライン、防腐加工施設など昨年度更新された各種機械設備の稼働状況を視察してきました。今後も、木材産業の振興に取り組んでまいります。



# 風力発電

# 再生エネに期待

町政調査会

### 事業の概要

発電所名 : 住田遠野ウインドファーム  
 事業主体 : 合同会社グリーンパワー住田遠野  
 設置予定地 : 遠野市と住田町 小友町から火の土の山の尾根一体  
 総事業費 : 約400億円  
 売電先 : 東北電力株式会社  
 発電容量 : 約9万9750kw  
 (4200kw風車、27基 遠野市17基 住田町10基)  
 予想発電量 : 年間約4万7千世帯分の発電量



△ タワー（支柱）並びに羽は、大船渡港に入港し、国道107号で陸送され、遠野市小友町堂場（荷沢）で積み替えし、ふるさと林道土室線で現地に搬送されています



△ 直径4.6m、高さ114mのタワーが建てられています

## 火の土 10基建設 運転開始 令和5年1月予定

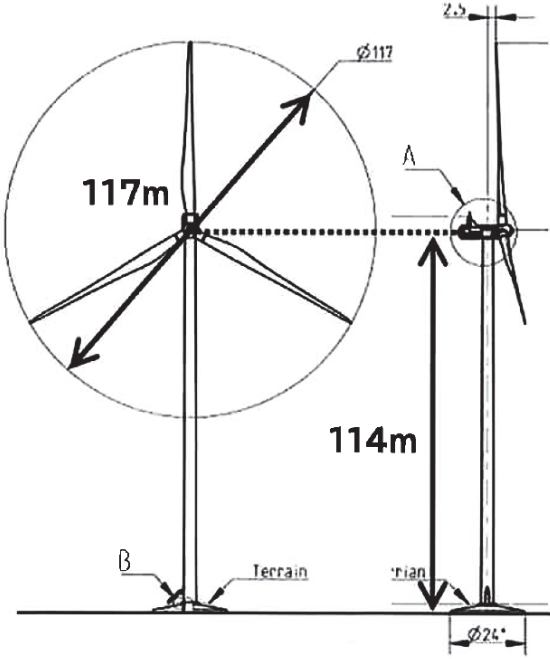
遠野市小友町から住田町下有住火の土の山の尾根一帯で工事が進められている風力発電所。5月10日に現地の視察研修を実施しました。

風力発電などの再生可待されます。

能エネルギーは、化石燃料を使用する火力発電とは異なり、発電時に二酸化炭素を排出しないため、地球温暖化防止に貢献する発電技術として期待されます。

### 風力発電機諸元

発電機出力 : 4200kw  
 タワーの高さ : 114m  
 羽の直径 : 117m  
 タワー直径 : 4.6m





# あなたの声を聞かせて



議会だよりに関するご意見やご要望などお聞かせください。いただきましたご意見等につきましては、今後の取り組みへの参考とさせていただきます、より良い広報活動に努めてまいります。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## ～回答方法～

下記のアンケートの該当する項目にを入れ、FAX又は郵送にて返送ください。また、住田町ホームページや右のQRコードからの回答も可能です。（※郵送の場合は84円切手が必要です）



### ☆提出先☆

郵送の場合：〒029-2396 住田町世田米字川向88-1

住田町議会 広報編集常任委員会あて

FAXの場合：0192-46-2018

ホームページ：<https://www.town.sumita.iwate.jp>

### 【Q 1】 年齢を教えてください。

10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代以上

### 【Q 2】 性別を教えてください。

男性 女性 無回答

### 【Q 3】 議会だよりの内容はわかりやすいですか。

非常にわかりやすい わかりやすい わかりにくい 非常にわかりにくい

### 【Q 4】 議会だよりのどのような記事に関心がありますか。（複数回答可）

町の考えを問う（一般質問） どうなりましたあの提言  
議会の活動レポート すみた想い人  
議会のあらまし（議案審議） わたしの未来  
町政に関する特集 特になし  
請願、陳情 その他（ ）

### 【Q 5】 改善した方がいいと思う点がありますか。（複数回答可）

カラー印刷の方がよい ページ数を増やしたらよい  
写真を多く掲載したらよい ページ数を減らしたらよい  
文字を大きくしたらよい 現状のままでよい  
特集ページはあった方がよい その他（ ）

### 【Q 6】 議会だよりに対するご意見等がありましたら、ご記入ください。

自由記載（ ）

提出期限 令和4年8月12日

お問い合わせ 0192-46-3754（住田町議会広報編集常任委員会）

※番号はお間違えのないようお願いします。

# 追跡レポート⑦⑥ 一般質問その後 どうなりました

# あの提言

## コミュニティバス 利便性向上へ

議員が行う質問や提言が、町政にどう反映されているか。これまでの質問の中から一部を取り上げ、その後どうなったか追跡してみました。

### 質問

#### 役場前にバス停を

世田米川向地区には、役場、小学校、運動公園、住田分署、農協世田米支店があり、利便性向上のためコミュニティバスの役場前停留所を新設すべき。

### 答弁

#### 総合的な 交通対策を推進

役場や農協利用者の要望や意見を伺い、福祉的視点から総合的な交通対策を推進していく。

その後



住民の声

えんどう えいこ  
遠藤 栄子 さん  
世田米字中井

役場・農協の用足や買い物などで利用をしています、料金も安価でとても助かります。

#### 令和元年4月に 役場停留所を設置



△ 役場停留所が新設され、役場や農協、住田地域診療センターの利用や買い物など利便性が図られた

# すみた想い人 10

町民の皆さんに登場していただく企画になります。町や議会に対しての意見、活動を通して「まちづくり」への想いを紹介していきます。



△「いきいきまちづくり」によるふれあい公園での花苗の植え付け

この春、新たに世田米地区公民館主事に着任した佐藤芙美子さんです。子育てをしながら、新しい地域の中で町づくりのお手伝いなど活躍が期待されます。

## 地域の方々と和やかに



△佐藤 芙美子 さん  
(世田米字川向)

**Q** 世田米地区公民館主事に着任したきっかけは。

**A** 子育てのため長らく外で働くことから離れていました。何か仕事に就きたいと思っていた矢先、二戸市から気仙地域への夫の転勤が決まりました。そんな時に住田町の公民館主事の募集が目にとまり、地域の人たちの生涯学習や交流、町づくりのお手伝いが出来たらすてきなと思いい応募しました。

## 議会を傍聴しよう!

町議会は誰でも傍聴できます。次の9月議会の予定は下表のとおり。生活改善センター議会棟の入口から案内に従って傍聴席へお入りください。

令和4年6月議会の傍聴者は7人でした



### 9月議会は

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
		一般質問			議案審議	
11	12	13	14	15	16	17
		決算審査特別委員会			議案審議	
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

## 住田テレビ放映もどうぞ



本会議や一般質問の様子は、住田テレビの「議会放送」でもご覧いただけます。放映時間は午後6時からです。

**Q** 地区公民館での活動は。

**A** まだ着任して2ヶ月程しか経っていません。先日、地区公民館事業の「いきいきまちづくり」でふれあい公園の花壇に花苗の植栽がありました。子どもから大人まで20人程の方々が参加でしたが、和気あいあいと作業していただき、皆さんと和やかに過ごせて嬉しかったです。

**Q** 趣味で活動していることは。

**A** 趣味はホルンを演奏することです。子どもが生まれるまでは、アマチュアオーケストラに所属して年に何回か出演していましたが、子育てに追われてここ数年はほとんど活動できていません。もう少し今の生活に慣れてきたら、近くの演奏団体のような所に入って活動したいと思っています。

**Q** 町や議会に望むことは。

**A** 住田町はもっと外に広くアピールしても良いと思います。地元にいると当たり前すぎて魅力的に感じないことが、外から来た人にとっては魅力的だったりします。住田に来てよかったと言われれば町の盛り上がりや発展につながると思っています。



パート  
10

# わたしの未来

## 住田町の子どもたちが 将来の夢を語る

コーナーです。

自薦・他薦も大歓迎。申し込みをお待ちしています。

### 子どもの思い大切に

私は将来、**保育園の先生になりたい**と思っています。小さい子と遊んだり、お世話をしたりするのが楽しいからです。私には妹と弟がいます。話をよく聞き思いを大切にしながらお世話をしています。この経験が将来の役に立てばいいなと思っています。



世田米小学校6年  
ほし りお な  
星 梨愛菜  
(世田米字里古屋)

### テニスが楽しい

ソフトテニスのスポーツ少年団に3年生から加入しています。ぼくは、ダブルスの後衛です。試合でいいプレーができると楽しくなります。将来やりたい仕事は、**道路を直す仕事**です。みんなが暮らしやすくなり、地域の人たちが笑顔になったらいいなと思います。



有住小学校6年  
さ さ き さ く や  
佐々木 朔弥  
(上有住字山脈地)

## 編集後記

広報編集常任委員会  
委員 佐々木 春一

▼6月は寒暖の差が大きい気候でした。健康や農作物の生育への影響が心配され、回復が望まれます。▼6月議会では、新型コロナや物価高騰に対応する補正予算や応急仮設住宅の解体、跡地活用などが審議されました。▼「仕事・学びの場創出事業」の建設場所や運営方法で議論が交わされ、これからの時代にあった展開が期待されます。▼議会だよりへのご意見を伺う企画をしました。忌憚のない声をお寄せください。

## 表紙の写真



世田米保育園



6月に世田米保育園で行われた、ぶどう組(5歳児)とりんご組(3歳児)の参観日にお邪魔してきました。大好きなお父さんお母さんの参観に、「お父さんこっちだよー!」「お母さんどこー?」っと、手を振ったりキョロキョロしたり、緊張しつつも嬉しそうなお子どもたち。園庭ではブランコ、鉄棒、砂遊び、虫探し…と、お父さん、お母さんと一緒に楽しそうに笑う声が溢れていました。

## 広報編集常任委員会

発行責任者

議長	瀧本 正徳
委員長	佐々木 信一
副委員長	水野 正勝
委員	菅野 浩正
	阿部 祐一
	佐々木 春一
	荻原 一勝

